

閉館について

日ごろ、当財団の事業活動については、格別のご支援、ご理解を賜り心から御礼を申し上げます。

1975年の開館以来、これまで189万人を超える方々にご来館いただき、「青森が生んだ世界のムナカタ」の芸業を幅広く紹介してまいりましたが、棟方志功記念館は、2024年3月31日をもって閉館いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数の落ち込みが長期にわたった結果、館運営のための財源確保が大きく影響を受けました。

また、開館から46年を経過した建物設備は、老朽化に加え、高齢化社会へのバリアフリー非対応等、中長期の視点で考えた場合、安心してご観覧いただく、安全に作品を守り続けることが困難でありますことなど、諸般の事情から閉館することにいたしました。

しかし、当財団は従来から青森県との事業連携協定により、青森県立美術館において棟方志功の顕彰事業を実施しておりますので、青森県民の宝である世界に誇れる所蔵作品は、より設備が整っている青森県立美術館に移管し、拡張される専用展示室において作品展示等を行って参ります。

今後、記念館閉館に係るいろいろな取り扱いにつきましては、県・市・記念館で協議を進めて参りますので、皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援をお寄せくださいますようお願い申し上げます、ご報告といたします。

令和4年7月

一般財団法人 棟方志功記念館
館長 小野次郎